

各種スポーツ施設、公園施設が整備された近代的な総合運動公園。

1 線

県政第

スポーツ振興に全力疾走

県営運動公園



後楽園球場10個分に相当する、広大な県営運動公園一。昭和41年に陸上競技場が完成したのをはじめ、各種スポーツ施設や公園施設を設置、近代的都市公園(23.7%)として整備された。

45年には岩手国体の主会場、以来、気軽にスポーツを楽しめる場として、広く県民に親しまれ、昨年度の利用者は、約32万8,000人にも上った。

46年からは、毎年モデルスポーツ教室を開設。その記録や分析結果は、各市町村などの体育

指導の参考資料として活用されている。

また、ことし9月には、県内のスポーツクラブ指導者を対象に研修会を実施。資質の向上、活動促進を図った。

広い土地だけに、維持管理の苦労も並たいていではない。芝生の除草、毛虫退治と、委託だけでは手が足りず、職員総出で作業が行われる。また、施設

現在、競技場の全天候舗装工事とテニスコートの夜間照明施

▼ことしのスポーツ教室は、婦人を対象にテニスや体カテスト。



設整備が進行中。来シーズンからは、一層充実した施設として生まれ変わる。

岩手のゴールドプランに基づいて、スポーツの生活化が進められるなか、県営運動公園では、スポーツの全県的センターとして、総合的な研究指導体制の確立に全力を挙げている。

▼子供から老人まで、スポーツの生活化が展開される。



▲10月完成を目指して、全天候舗装工事が急ピッチで進められている。工事の進行管理も大切な仕事。



▲設備や用具を貸し出して、各種の大会に一役。